

研究課題名	脳血管内治療を施行した中大脳動脈瘤の再治療に関わる因子の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 脳神経外科
研究責任者	所属 脳神経外科 氏名 佐藤洋平
研究期間	(西暦) 2019年 11 月 ~ 2021年 12 月
研究の意義・目的	当施設ではこれまで破裂、未破裂を問わず脳動脈瘤に対する血管内治療を多数おこなってきました。中大脳動脈瘤は比較的表面に近い部位であり開頭クリッピング術が選択されやすい部位です。血管内治療は治療後の脳動脈瘤再開通により再治療を余儀なくされることがあります。当施設で中大脳動脈瘤に対する血管内治療を施行後の経過に関し検討し、より適切な治療方法や経過観察、再治療の時期を見出すことを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	2011年1月から2019年12月までの間に当施設で中大脳動脈瘤に対する血管内治療を行い、その後経過観察を行った患者様が対象となります。過去の診療録から診断名、年齢、性別、これまでの病歴、該当する動脈瘤の破裂の既往、大きさ、親血管との位置関係、使用したステントやコイル、併用した薬剤、治療時及び経過観察時の塞栓状況の変化、再治療の有無および動脈瘤治療に由来すると考えうる合併症などの情報を利用します。本研究のために新たに検査を行うことはありません。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	得られた診療情報は担当研究者が本研究に利用することのみを目的とします。この研究の結果は、担当研究者が研究に関連する学会で報告し、関連する分野の学術雑誌に論文として公表する予定です。公表する際には個人が特定できないような形で診療情報を利用します。利用する情報は、診断名、年齢、性別、これまでの病歴、該当する動脈瘤の破裂の既往、大きさ、親血管との位置関係、使用したステントやコイル、併用した薬剤、治療時及び経過観察時の塞栓状況の変化、再治療の有無および動脈瘤治療に由来すると考えうる合併症などです。本研究に係る情報は研究責任者が管理を行います。
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経外科 氏名 佐藤洋平 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525